

田中友義教授主要経歴・著作目録

生年月日 1940年1月21日生

略 歴

- 1963年3月 大阪外国語大学(現 大阪大学)外国語学部フランス語学科卒業
1963年4月 政府関係特殊法人 日本貿易振興会(現 日本貿易振興機構；
ジェトロ)入職(～91年3月)
1975年4月 通商産業省(現 経済産業省)入省 通商政策局西欧中東ア
リカ課 課長補佐(～77年4月)
1981年2月 ジェトロ・パリ・センター次長(～85年7月)
1989年10月 ジェトロ経済情報部 部長代理
1989年12月 財団法人 国際貿易投資研究所 研究主幹(～91年3月)
1991年4月 山梨学院短期大学経営学科 助教授として就任
1991年4月 財団法人 国際貿易投資研究所 客員研究員(現在に至る)
1993年4月 山梨学院短期大学経営学科 教授(～2001年3月)
2001年4月 駿河台大学経済学部 教授として就任
2004年4月 駿河台大学経済研究所 所長(～2006年)
2008年4月 駿河台大学大学院経済学研究科 科長(～2010年)
2013年3月 駿河台大学を定年退職

著 作

I 著書／編著

(2001年以降のもの)

『EUの経済統合』(单著), 中央経済社, 2001年

『EU経済史』(共著), 税務経理協会, 2001年

『ヨーロッパ経済論』(編著), ミネルヴァ書房, 2004年

『増補版 現代経営用語の基礎知識』(共著), 学文社, 2005年

『改訂版 ヨーロッパ経済論』(編著), ミネルヴァ書房, 2006年

『EU経済論；統合・深化・拡大』（単著），中央経済社，2009年

『現代ヨーロッパ経済論』（編著），ミネルヴァ書房，2011年

II 学術論文

(2001年以降の主要なものの一部)

「反グローバリズム，反統合，高失業，難民・不法移民；EU政治潮流の右傾化の要因を読み解く」『季刊 国際貿易と投資』第13巻第1号No.49，(財)国際貿易投資研究所，2002年

「欧州はどこへ行くのかQUO VADIS EUROPA？；欧州統合構想と新たな欧州像の模索」『季刊 国際貿易と投資』第14巻第3号No.53，(財)国際貿易投資研究所，2003年

「財政均衡優先か，景気優先か；独仏の財政悪化で揺らぐ『安定・成長協定』の規律」『季刊 国際貿易と投資』第16巻第3号No.57，(財)国際貿易投資研究所，2004年

「拡大EUと日本・EU経済関係；拡大によるビジネス環境の変化と日本企業の対応」『海外事情』第53巻第2号，拓殖大学海外事情研究所，2005年

「欧州統合の最終形態に関する一考察；『連邦国家』か『連合国家』か（その1）」『駿河台経済論集』第15巻第2号，駿河台大学，2006年

「欧州統合の最終形態に関する一考察；『連邦国家』か『連合国家』か（その2）」『駿河台経済論集』第16巻第1号，駿河台大学，2006年

「拡大EUの海外直接投資 (FDI) の実態；過去5年間の変化を検証する」『季刊 国際貿易と投資』第19巻第1号No.68，(財)国際貿易投資研究所，2007年

「絶えず深化・拡大するEU・アジア関係；EU，戦略的パートナーシップを追求」『海外事情』第56巻第4号，拓殖大学海外事情研究所，2008年

「日本・EU経済関係の現状と課題；双方向の貿易・投資パートナーシップ促進が重要目標」『海外事情』第57巻第9号，拓殖大学海外事情研究所，2009年

「リーマン・ショック後のEUの景気・雇用情勢について；独・仏・英の主要3カ国を中心として」『世界金融経済危機へのEUの対応』（調査報告書）(財)国際貿易投資研究所，2010年

「欧州経済の再生への挑戦；『リスボン戦略』から『欧州2020』戦略への移

行と課題』『経済学論纂』第51巻第1・2合併号，中央大学，2011年
「EUの経済ガバナンスの再構築と欧州統合の行方』『駿河台経済論集』第22
巻第2号，駿河台大学，2012年

Ⅲ 研究ノート／報告

「EUのエネルギー資源の対外依存および安定供給確保（安全保障）の現状
と課題』『駿河台経済論集』第18巻第1号，駿河台大学，2008年

講演など

（本学に関係するもの）

駿河台大学・地域フォーラム・シンポジウム（「世界の仲間が本音で語る：
地域と私」基調演説，2004年10月）

市民の大学公開講座（「国際経済の読み方—経済統計からグローバル化と地
域化を読み解く」講演，2004年11月）

市民の大学公開講座（「EU拡大と日系企業の経営活動」講演，2008年12月）

市民の大学公開講座（「日本企業のグローバリゼーション」講演，2011年5月）

（以上）